

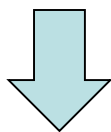


受託者（民間企業）から見た
（処理場と管路の一体管理を含めた）
包括的民間委託
の現状と課題

平成28年9月27日

はじめに包括的民間委託とは

- ・ 要求水準による性能発注
- ・ 受託者である民間企業の自由裁量による創意工夫の発揮
- ・ 複数業務の包括的实施による業務効率化
- ・ 複数年契約による経験の蓄積、安定雇用による人材育成・確保



発注者（自治体のメリット）

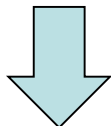
- ・ 安定した事業運営
- ・ コスト削減

1.包括的民間委託の実態・課題

安定した事業運営

(民間会社の育成による技術継承)

- ・技術継承の標準化・マニュアル化



サービスレベルの維持・向上

- ・人材確保、組織力強化は民間企業側の課題
- ・そのためにもビジネスとしての魅力が求められている(適正利潤、事業の将来性等)

1.包括的民間委託の実態・課題

コスト削減

- ・ 人件費の差額によるコスト削減が主流
→削減効果は限界
- ・ 性能発注とは言えない契約形態が多い
→本来求められるべき民間の創意工夫を発揮できる余地が少ない

次に下水処理場運転管理以外の業務との一体管理とは

浄水処理サービス

- 浄水場の設計・建設・更新
- 浄水場の運転・維持管理

コスト改善要因

- 1:民間企業の創意工夫
- 2:性能発注・複数年契約・包括委託

管網・配水サービス

- 管網の運用と維持管理
- 管網施設管理の最適化
- 管網更新計画の策定

コスト改善要因

- 1:漏水調査および防止対策
- 2:GIS利用による水理解析、水運用の最適化
- 3:施設更新計画の立案



総合的サービス

下水処理場・管きよサービス

- 処理場の設計・建設・更新
- 処理場の運転・維持管理
- 官きよの運用と維持管理
- 官きよの調査と最適化
- 官きよの更新計画の策定

コスト改善要因

- 1:民間企業の創意工夫
- 2:性能発注・複数年契約・包括委託

顧客サービス

- 料金業務(加入手続き・検針・請求書発行・集金・滞納整理など)
- カスタマーサービス(窓口業務・コールセンター・インターネットなど)
- 情報管理(顧客データ管理・個人情報保護・ソフトウェア開発など)

コスト改善要因

- 1:検針業務
- 2:料金徴収業務
- 3:滞納整理業務

2. (主に受託者から見た) 一体型包括管理の利点と課題

利点

- 共通業務の一元化により効率化が図れる
- コスト削減が図れる
- 上水・下水・農集・管路業務でマルチスキル化による人材育成が図れる
- 発注者（自治体）は管理監督業務が一元化され更なる効率化が図れる

2. (主に受託者から見た) 一体型包括管理の利点と課題

課題

- 総括・副総括責任者には業務範囲・業務の質が求められる
人材育成が急務かつ必須である (今までの業務以外の事も判断しなければいけない)
- 効率的な運転維持管理を目指すには
 - ～一体管理から得られたデータ解析により、運転方法を計画立案し、実行することが求められる
 - ～受託会社は従来の維持管理業務を遂行するための体制や人材育成と現場や支店・本社あらゆる組織・人材を強化する必要がある
- 従来の仕様発注業務より間接経費の割合や額が多くなる
- 民間企業では人材確保に悩みを抱えている状態である

3.管路管理との一体管理における受託者の利点と課題

利点

- 包括管理に管路業務が含まれることにより、
新たなノウハウの構築が図れる
～業務の幅が広がり発注者の要望（一体発注）に
応えることができるようになる
- 施設管理の業務をシェアすることでマルチスキル
化が図れる

3.管路管理との一体管理における受託者の利点と課題

課題

- 陥没事故のリスク等は民間企業では厳しく性能発注は難しい
- 点検調査の手法には専門性が求められる
～調査内容・結果の判断には特に経験値や専門性が求められる

⇒管路業務分野では管路業務専門企業に業務遂行が理想

- 管路業務を性能発注に近づけていくには、官と民のリスク分担を明確にすると共に、調査方法・調査後の判断基準を標準化することで、要求水準を作り上げることが必要

4. 今後の課題 まとめ

- 発注金額のみのコスト縮減が先行している自治体が多くある
- 包括的民間委託が性能発注になっていない案件も見られる
- リスク分担が標準化・確立されていない
- 管路業務のリスクは民間では現在受ける事は難しい
～リスク分担を明確化し性能発注に近づける必要がある
- 管路業務は専門業者に任せる事が最適
～性能発注に近づけるためにスキルや力量、手法を標準化する必要がある
- 民間企業は人員の確保・人材育成・組織力の強化が急務
- 事業運営全体を公平に評価・判断のできる第三者機関の必要性

御清聴ありがとうございます